

近日発売

臓器培養システム

Organ Culture System



シンプルな臓器灌流で、あなたの研究を次のステージへ

生体外灌流

臓器モデル

3次元培養

臓器保存

臓器構築

脱細胞化

デモ依頼・訪問説明
受付中

私は、これまで研究者として臓器灌流に取り組み、複雑な臓器灌流を正確に実現することの難しさを実感しました。メーカー開発者としてこの難しさを無くし、臓器灌流研究に集中できればと思い、この装置を開発を進めています。「臓器の容器」、「血管接続チューブ」、「血管内への送液ポンプ」、「温度制御装置」がすべて含まれており、手順が非常にシンプルです。ぜひ、あなたの臓器灌流研究をサポートさせてください！



開発責任者：佐野和紀, Ph.D
臓器培養システム担当

東京女子医大学先端生命医科学専攻代用臓器分野修了,
博士(医学)

発表学会：再生医療学会(2016,2017,2018口頭),
TERMIS-AP(2017口頭), TERMIS-EU(2018ポスター)他



特徴

バイオリアクターユニット

東海ヒットの温度制御ノウハウを活用

ThermoPlate®、StageTop®Incubatorの温度制御技術を応用し生体内温度の模倣をコンパクトな装置で高精度に可能。

培養チャンバー

対象臓器の保持、血管の接続が可能

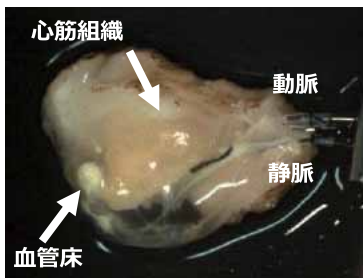
専門的な技術は最小限に、灌流チューブから、1ミリ単位の血管へのストレスない接続が可能。

チューブセット

生体内の臓器と同じ方法で灌流

ポンプは、血管内への直接灌流で想定される流速に対応。

使用実績



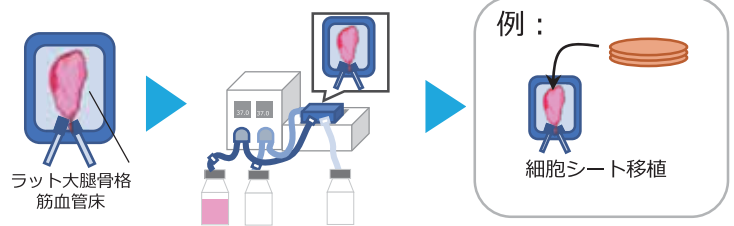
ラット大腿骨格筋(血管床)上で作製した心筋組織

東京女子医科大学の関根秀一講師、清水達也教授らは、本システムの基盤技術を使用し、動静脈付きのラット大腿骨格筋組織を血管床として、生体外において血管を有し、拍動する心筋組織の構築に成功しました。

Sekine H, Shimizu T et al. In vitro fabrication of functional three-dimensional tissues with perfusable blood vessels. *Nat Commun*, 2013. Available from: <https://www.nature.com/articles/ncomms2406>

使用フロー

- 1 準備
- 2 セッティング
- 3 実験開始



← 装置にお任せください →

研究

臓器培養システムにより、機器の選定、準備、セッティングを一元化することで、集中して臓器灌流実験に取り組むことができます。

デモ依頼、訪問説明の依頼、その他お問い合わせは臓器培養システム特設サイトにて承っております。載せきれなかった詳細情報なども掲載しておりますので是非ご覧ください。

<https://www.tokaihit-excite.com/bioreactor>



お問い合わせはこちらからも承っております。

株式会社 東海ヒット

〒418-0074

静岡県富士宮市源道寺町306-1

TEL : 0544-24-6699

FAX : 0544-24-6641

E-mail: kazu-sano@tokaihit.com



TOKAI HIT